

中期3か年計画(平成22年度～24年度)のフレームワーク

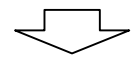
基本情勢と課題

社会・経済

米国発の金融危機に端を発した景気の減速による雇用や暮らしの不安の増大
行き過ぎた市場原理主義や規制緩和への過度な偏重を見直す動きの強まり

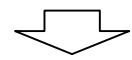
食料・農業

世界的な食料需給の逼迫などによる食料・農業への関心の高まり
農地制度・基本計画見直し、WTO農業交渉への対応など農業政策の大きな転換期
相次ぐ偽装表示や輸入食品による健康被害などをうけた食の安心安全を求める声の高まり
直販・契約的取引など農畜産物流通形態の変化の加速
農家の高齢化や後継者不足などによる生産基盤の弱体化
農家形態の多様化や農外資本の農業参入など農業構造の変化
生産資材価格の上昇、販売価格の低迷による農家経営の危機



地域・暮らし

省エネ機器やクリーンエネルギーの普及拡大
自然環境保全など農業の多面的な機能への期待の高まり
過疎化の進展などによる地域社会の維持が困難な地域の増加
健康・医療、福祉面のニーズや助け合い活動・生きがいづくりへの関心の高まり
組合員・地域住民の暮らしを総合的に支援するJAへの期待の高まり



地域に根ざした協同組合として、食と農を通じたJAらしい事業の展開による活力ある地域社会の実現への貢献が求められている

基本方針

『総合力発揮による地域農業の振興と豊かな地域社会づくりへの貢献』

農業・農村を取り巻く環境が大きく変化の中で、JAグループの総合力を生かした担い手対策の強化や地域に根ざした生活活動の展開を通じて、『食』を担い、『地域』を支える役割を発揮し、地域農業の振興と豊かな地域社会づくりへの貢献につとめます。

基本戦略

中核的担い手づくりによる地域農業の振興

食と農を通じた豊かな地域社会づくりへの貢献

重点戦略・主要施策

力強い担い手づくりによる地域農業の活性化

1. 地域農業をリードする中核的担い手の育成
・肉用牛繁殖経営安定事業の拡充や大規模分業モデル事業の実施
・産直部会・法人設立型養豚経営の育成
・JA出資型園芸法人の設立による生産モデルの構築支援
・農機プランナー育成による担い手へのアドバイザー機能の強化
2. 新たな活力を生み出す新規就農者の育成
・行政等と連携したJAグループの就農支援体制の整備
・JA貸付型肉用牛繁殖牛舎アパート事業(仮称)の構築
・新規園芸就農者育成システムと経営支援体制の構築
3. 担い手を核とする戦略的産地づくり
・鹿児島県の特性を活かした商品の開発による果樹産地の育成
・でん粉工場を核とした担い手農家や共同利用組織の育成
・品質向上に向けたかごしま茶ワンランクアップ運動の展開
4. 担い手ニーズに対応した営農指導の強化
・営農指導員の資質向上のための教育研修の充実
・JAの出向く営農体制整備の支援

コスト低減・生産性向上と広域的視点による事業の効率化

1. 地域未利用資源の活用や資材供給体制の見直し等によるコスト低減
・粗飼料生産組織の育成支援
・「からいもんつら」「でん粉粉」など未利用資源の活用
・養豚肥育部門でのリキッドフィーディングシステムの実証・普及
・飼料の物流合理化とJAと連動した受発注システムの構築
・施設園芸での暖房コストの抑制や通いコンテナの普及推進
・土壌診断にもとづく適正施肥や低成分肥料等の普及
2. 新機器・技術の導入等による生産性の向上
・web型発情発見装置を活用した繁殖牛分娩間隔の短縮
・省エネルギー栽培や生産性の高い栽培技術の確立
3. 広域的視点による事業強化など効率的な事業体制の構築
・園芸総合流通センター(仮称)の整備検討
・「ゆいポート」を核とした農機アフターサービス機能の強化

人や組織との連携による地域活性化への貢献

1. 消費者と生産者を結ぶ地産地消や食農教育の推進
・JA直売所のネットワーク化など域内販売機能の強化
・ファーマーズコーナーの充実など地域に密着したAコープ店舗の展開
・JAフードプラザにおける県内産農畜産物の飲食事業拠点としての機能強化
・JA・中央会・子会社との連携強化による食農教育活動の充実
・生協などとの協同組合間の提携・交流の促進
2. 地域資源を活用した事業の展開
・からいもんつらなど耕畜連携による地域循環型農業の確立
・地域と密着した農商工連携の取組強化

担い手の期待に応える販売事業の強化

1. 品目ごと販売戦略の強化
・マーケットリサーチに基づく鹿児島黒牛販売戦略の展開
・銘柄豚のリニューアルや低コスト豚肉開発などチャネル別販売戦略の推進
・加工・業務用や契約取引の拡大を柱とする青果物販売戦略の強化
・ネット販売、通販への取り組み拡大など新たな果樹販売戦略の展開
・あきほなみ、米麹用米など品種構成の見直しによる売れる米づくりの促進
・食品向け販売への転換など甘しょでん粉販売戦略の強化
・相対取引、荷口集約など流通体制の見直しによる茶市場機能の強化
2. 経済連グループの総合力発揮による販売機能の強化
・横断的グループ営業の展開など直販事業の拡大や販売促進活動の強化
・華蓮の県外新規店舗に関する調査・出店
・カタログ・ネット通販等によるJA農畜産物・加工品の拡販
・本県農畜産物の輸出にかかる取組の拡充
・経済連グループの高付加価値商品開発機能の強化

消費者の信頼に応える「食の安心・安全システム」の拡充

1. 安心・安全な物づくり力の強化
・かごしまの農林水産物認証制度等GAP手法の普及促進
・生産プロフィール日誌記帳の徹底
・園芸生産履歴管理システムの活用促進
・農業適正使用の遵守徹底と残留農薬自主検査事業の継続実施
2. 消費者と生産者を結ぶ安心・安全ネットワークの構築
・取引先とのパートナーシップの構築による安心・安全への取り組み強化
・茶市場での生産履歴の確実な検証や異物混入防止の強化
・JAグループにおける衛生管理機能拡充のための支援強化

地域を支える総合生活事業の展開

1. 高齢者を支援する事業の展開
・高齢者訪問給食サービス事業の展開
・住宅のバリアフリー化など高齢者にやさしい住宅の提案
2. 暮らしのサポート機能の強化
・県内産農畜産物を活用したJAらしい法要関連商品の拡大
・JA間での共同利用と相互派遣研修など葬祭事業の運営強化
・環境やニーズの変化に対応しうるSS施設の整備と運営力強化
3. 総合力を生かした事業利用の促進
・中央会と連携した総合ポイント制度の導入検討

新エネルギーを活用した新たな事業の構築

1. 快適な暮らしに向けた新エネルギーの活用
・太陽光発電や燃料電池など新エネルギーへの取組強化
・クリーンエネルギーへの燃料転換などエコ事業への取組強化
2. 新エネルギーを活用した省エネ生産システムの研究・実証

JA鹿児島県大会

食と地域を支えるJAの新たな挑戦

<めざすもの>

『食』を担い、『地域』を支えるJAとしての役割発揮

<取り組み方向>

協同と連携による新たなネットワークの構築

JAグループの総合力を発揮した事業・活動の展開